

## 「ぼくたちの地球を守ろう」 第15回アジアこども会議



海外と日本の受賞者を混合した5グループで行われた話し合い

- ◆日 時 : 2008年7月30日(水) 15時00分～17時30分
- ◆会 場 : 如水会館(富士の間) 東京都千代田区一ツ橋2-1-1
- ◆会議参加者 : コンクール受賞者 (国内:18名、海外:10名 計28名)
- ◆内 容 : 環境に関するテーマについてグループごとに話し合い、その成果を発表し、最後に「こどもアジェンダ21」宣言書としてまとめ、環境省の出江俊夫環境教育推進室長(環境大臣代理)に手渡す
- ◆会議のテーマ : 「みんな繋がっている～身近な環境問題と私と世界」
- ◆司会進行 : NPO法人神戸国際ハーモニーアイズ協会 瀬川映太氏
- ◆プログラム :
  - 主催者代表挨拶 <中江利忠 地球こどもクラブ東京大会実行委員長>
  - 基調講演 <NPO法人神戸国際ハーモニーアイズ協会 瀬川映太氏>
  - 環境寸劇～ディスカッション
  - 司会・進行 <NPO法人神戸国際ハーモニーアイズ協会 瀬川映太氏>
  - 各グループ発表
  - 「こどもアジェンダ21」宣言書、とりまとめ及び署名
  - 代表者が「こどもアジェンダ21」宣言書を環境省の出江俊夫環境教育推進室長(環境大臣代理)に手渡す
  - 閉会

## ■ 基調講演 : NPO法人神戸国際ハーモニーアイズ協会 瀬川映太氏

ボランティア活動や海外支援、村作りなど様々な体験をもとに、「繋がり合い」をテーマとした実体験のドキュメンタリー映像により、「繋がるとどれほどの可能性が生まれるか!」「努力すれば夢は叶う!」ということを子供たちに伝えてくれました。



NPO 法人神戸国際ハーモニーアイズ協会／ドキュメンタリー映像 Web サイト Wajju では、市民の実践によるすばらしい活動や感動の出来事、奇跡などをドキュメンタリー映像として募集し、世界へ配信しています。

映像：平和を願う一人のおじいさんの夢が、若者から日本、そして世界へ広がる奇跡の物語

以下、瀬川氏より（要旨）

これからの未来を考える上で、大切な事はまず、思うこと。そして、次に動くこと。

「私にも出来る!、私でも出来る!」そんな小さな行動が繋がると、いつの日か大きな事に繋がっていきます。

可能性を信じ、どこまでも動き続けていきましょう。

## ■ 寸劇：「未来の地球環境の為に」

テーブルごとに5つのグループに分かれ話し合い、地球環境について、今自分たちが出来る事について寸劇を作り、発表しました。

前日の夜から準備をしていたとはいえ、言葉の壁や初対面の緊張を乗り越えて、各グループがすばらしい寸劇を発表しました。

※各グループには通訳者の他に、コーディネーターとして学生スタッフが2人ずつ入り、子供たちに笑顔と活気を与えてくれました。

- ◆まずは、大人が見本を見せなければ・・・と、瀬川氏と学生スタッフによる「ハチドリの一としずく」の寸劇。



### ◆タイ・日本グループ

タイの森林伐採などの環境問題を得意の絵で表現し、分かりやすく説明した後、その為に今、自分たちに出来る事を一人ひとりが発表していった。

- ・マイ箸を持つ
- ・石油資源削減の為、レジ袋をもらわない



### ◆中国・日本グループ

桃太郎をユニークに変えた『エコ太郎』の話。汚い川から流れてきたのは、桃ではなく、ソーラーカー。おじさんとおばあさんに育てられたエコ太郎は植林などの環境活動に取り組み、やがて深刻な環境問題を抱える中国へと旅立っていった。

- ・やっぱり、今、川や海が汚れているので、私たちがどうにかしなければならないと思う。



### ◆インド・日本グループ

体調の悪さや言葉の壁など、グループの中で最もコミュニケーションが難しかったインド・日本チームでしたが、最後には、川が汚くて金の斧が渡せないというユニークな発想の「金の斧 銀の斧」の寸劇を発表しました。担当した学生スタッフも最後には感動の涙を流すほどの素晴らしい発表でした。

- ・木を切って紙が作られる。その紙を自分が使うときに、その紙が本当に必要なのかを考える必要がある。紙一枚でも、木のことを考えて使うことが必要なんじゃないかと思う。



#### ◆韓国・日本グループ

浦島太郎を「エコ島太郎」に変えた寸劇を発表しました。練習中に涙を流すほどの衝突がありながらも、近代化が進んだ街で海が汚れてしまった為、恩返しがしたくても出来ない竜宮城の姿から始まり、それでも、一人ひとりの小さな努力できれいな環境を取り戻していく様子を見事に演じました。



#### ◆シンガポール・日本グループ

「あなたはゴミを拾う人ですか？そのまま通り過ぎてしまう人ですか？」というゴミをポイ捨てる人間に対しての問いかけから始まり、シンガポールの子どもたちから「シンガポールではゴミを捨てると罰金になります！」という日本語でのアナウンスに続き、最後は「行動は人に合わせてするものではなく、自分の意思でするものでしょう。」という力強いメッセージで会場内をハッ！とさせました。



◆各グループの発表後は、地球子どもクラブ理事が感想を述べました。



内海桂子理事



森ミドリ理事

## ■ディスカッション

### テーマ：「今、私たちに出来る事」

今までの寸劇やグループでの話し合いを通して、今、自分たちに出来る事を考え、グループ毎に発表しました。

#### ◆タイ・日本チーム

- ・8月5日を「エコの日」として、冷房を使いません。
- ・エレベーターは使いません。
- ・家の庭に植物を植えます。



#### ◆韓国・日本チーム

- ・一人ひとりが家に植物を植え、その成長過程をみんなでメールや手紙でやり取りをしていきます。
- ・その植物から育った種をまた近所に配り、大きな「ミドロの輪」を作ります。
- ・韓国には現在「植物を植えましょう」という日があるので、その日にもっと多くの人が植物を植えてくれるよう呼びかけます。



#### ◆インド・日本チーム

- ・夏休み中は家族や友人と外でネイチャーゲームをします。



#### ◆中国・日本チーム

- ・5のつく日は「ゴミの日」として、ゴミを拾います。
- ・これからはマイ箸、マイバッグを使います。
- ・水の節約をします。



#### ◆シンガポール・日本チーム

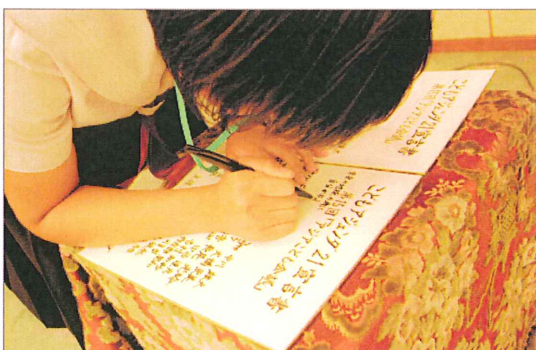
- ・来年の7月30日（アジアこども会議の日）をエコの日とし、以下の事を行います。
- ・打ち水をする
- ・お風呂の残り水で掃除をする
- ・自転車で移動する
- ・集まってゴミ拾いをする



各グループより様々なアイデアと共に実践する事の誓いが発表され、私たち大人も負けてられない！  
と気持ちを新たにしました。

#### ■「こどもアジェンダ21」宣言書

【未来の地球のために、自分から小さな事を始めるヒーローになります！！】



代表として大橋亜美さん（日本）が、  
「こどもアジェンダ21」宣言書に記入



環境省の出江俊夫環境教育推進室長に宣言書  
を手渡しました。